

## 教育学部 地球科学専修 科目登録に関する注意事項

### 全体的注意

- 科目の登録にあたっては、『学部要項』と『2018 年度授業ガイド 理学科編』をよく読んでおいて下さい。科目登録に関する注意事項の多くは、入学時に配布された『学部要項』に載っています。
- 『授業ガイド』にも明記されているように、同じ専門選択科目を 2 回不合格となった場合には、それ以降その科目を履修することはできません。その結果、卒業できなくなる可能性もあります。
- 「卒業研究」の専門分野選択に関しては、「専門分野に必要なコア科目 (core subjects)」、および「専門分野に関連のある科目 (related subjects)」があります。「各専門分野の卒業研究を行うためのコア科目と推奨科目」※1に従って、4 年次に卒業研究を行う希望の研究室を選択するために必要な科目を履修して下さい。

「専門分野に必要なコア科目」を 3 年次までに履修していない場合には、当該専門分野研究室で卒業研究を行うことは原則としてできません。4 年次必修の「卒業研究」と当該分野の「各専門分野演習」以外の科目は、できる限り 3 年次までに履修して下さい。

授業ガイド掲載の卒業要件を満たしても、推奨科目の選択の仕方によっては希望研究室で卒業研究を行えない可能性がありますので十分に注意してください。

※1 添付した表「各専門分野の卒業研究を行うためのコア科目と推奨科目」を参照してください。

- 地球科学演習を履修するためには、1 年次配当の必修科目を全て修得済みである必要があります。

- 専門選択科目「天体物理学Ⅱ」（3～4年次配当）の授業は西早稲田キャンパスで行われます。登録に際して、移動時間などに注意して下さい。（早稲田キャンパスで行われる「天体物理学Ⅰ」（3～4年次配当）と連続しての履修は可能です。）
- 履修相談などがある場合は、クラス担任や助手に相談して下さい。  
科目登録に関する相談は、My WASEDA ログイン画面左下 『成績照会・科目登録専用メニュー』 - 『Web 科目登録の問い合わせフォーム』で受け付けています。

## 2016 年度入学者 (3 年生)

- 3 年次必修科目の履修について

3 年次春学期の必修科目は「地球科学演習」(金曜 1 時限) です。

授業の初回 4 月 6 日 (金) に、8 研究室のクラス分けの確認を行うと同時に、地球科学実習の説明を行います。その後、それぞれ研究室ごとに分かれて各演習のオリエンテーションを行います。

3 年次秋学期の必修科目は「構造地質学基礎演習」・「堆積学基礎演習」・「進化古生物学基礎演習」・「地球物質科学基礎演習」・「火山学基礎演習」・「惑星科学基礎演習」・「地球化学基礎演習」・「衛星地球観測学基礎演習」のうちの 1 科目です。

これらの「○○○学基礎演習」は、必修科目ですが、自動登録されません。このため、4 月の科目登録の時点ではこの 2 単位分を除いた 42 単位を上限として時間割を組んで下さい。また、「○○○学基礎演習」は秋学期の金曜 1 時限目に開講されるので、この時間帯には他の科目を選択しないよう注意して下さい。

- 「地球科学実習」について

2018 年度は北海道巡検 (2 班) です。

【説明会】

日時・場所 : 4 月 6 日 (金) 1 時限 6-201 教室

(3 年必修科目「地球科学演習」授業内で行います)

## 本学大学院へ進学を考えている人へ

- 1999 年度より「学部・大学院一貫教育化に伴う科目履修の新制度」が適用されています。創造理工学研究科の詳細については本紙 P. 6 を参照して下さい。

☆「大学院先取履修」については、教育学部ホームページをご覧ください。

<https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/other/>

## 科目の履修条件についての注意 (2014 年度以前入学者)

「…」を履修するためには	「…」を	〇〇〇であること
「〇〇〇学基礎演習」	「地球科学演習」	修得していること。
「地球科学実習」(D 群)	「地質学入門—地球の物質」	
「地質調査実習」(D 群)	「地質学入門—地球の歴史」	
「地球科学演習」(3 年必修)	「惑星地球の変動と進化」 「惑星地球学入門」	
「地質調査実習」(D 群)	「地質図学演習」(C 群)	
「岩石学実験」(C 群) ※定員 20 名	「岩石学」(B 群) 「岩石記載法」(C 群)	修得していること。
	★「岩石学実験」の登録 履修希望が強い学生については、あらかじめメールにより志望理由書を提出し、その内容を基に判断した上で、抽選から除外し、優先登録をする措置を講じる。	
「岩石記載法」(C 群)	「岩石学」(B 群)	履修済みであること。
「鉱物学実験」(C 群)	「鉱物学」(B 群)	
「地史学 II」	「地史学 I」(B 群)	
「地殻運動論」	「構造地質学」(B 群)	
「堆積学 II」	「堆積学 I」(B 群)	
「古生物学 II」	「古生物学 I」	
「大気の運動と気象システム」	「気象の基礎物理」	
「物理学実験 II」	「物理学実験 I」	

（注）“修得”とは、その科目を登録し、“C”以上の成績を得ていることを指します。

“履修済み”とは、その科目を登録し、“F”以上の成績を得ていることを指します。

## 科目の履修条件についての注意 (2015 年度以降入学者)

「…」を履修するためには	「…」を	〇〇〇であること
「〇〇〇学基礎演習」	「地球科学演習」	修得していること。
「地球科学実習」(C 群)	「地質学入門—地球の物質」	
「地質調査実習」(C 群)	「地質学入門—地球の歴史」	
「地球科学演習」(3 年必修)	「惑星地球の変動と進化」 「惑星地球学入門」	
「地質調査実習」(C 群)	「地質図学演習」(B 群)	修得していること。
「岩石学実験」(B 群) ※定員 20 名	「岩石学」 「岩石記載法」(B 群) ★「岩石学実験」 履修希望が強い学生については、あらかじめメールにより志望理由書を提出し、その内容を基に判断した上で、抽選から除外し、優先登録をする措置を講じる。	
「岩石記載法」(B 群)	「岩石学」	履修済みであること。
「鉱物学実験」(B 群)	「鉱物学」	
「地史学 II」	「地史学 I」	
「地殻運動論」	「構造地質学」	
「堆積学 II」	「堆積学 I」	
「古生物学 II」	「古生物学 I」	
「大気の運動と気象システム」	「気象の基礎物理」	
「物理学実験 II」	「物理学実験 I」	

(注) “修得”とは、その科目を登録し、“C”以上の成績を得ていることを指します。

“履修済み”とは、その科目を登録し、“F”以上の成績を得ていることを指します。

**教育学部 地球科学専修—大学院 創造理工学研究科  
相互乗り入れ科目についての留意事項**

教育学部-大学院創造理工学研究科相互乗り入れ科目として、下記の3種類の制度があります。

★隔年開講科目

**(1) 学部生の大学院先取り科目** (大学院進学が明確で成績優秀な4年生の場合、教員の許可を得て大学院の科目を上限10単位以内で履修可能)

- ★「岩石熱力学特論」(小笠原)
- ★「古海洋学特論」(守屋)
- ★「大陸地殻の進化と碎屑物組成」(太田)

**【2018年度休講】**

- ☆「超高压岩石学特論」(小笠原)
- ☆「進化古生物学特論」(守屋)
- ☆「日本列島の地体構造論」(太田)

**(2) 学部・大学院合併科目** (院生が学部で履修しなかった場合に、履修・単位取得可能、大学院科目としても配当)

- 「地球テクトニクス」(山野)
- 「海洋科学」(道田)
- 「海洋底ダイナミクス」(芦・沖野)
- 「地球化学」(海老原)
- 「同位体地球化学」(海老原)

※合併科目を大学院の先取り科目として申請することはできません。

**(3) 大学院生の学部科目履修制度対象科目** (後取り履修科目：大学院科目としては配当されていないが、教員の許可を得て上限4単位まで履修・大学院の単位として取得可能)

- ★「地球物質科学」(小笠原)

**【2018年度休講】**

- ☆「岩石成因論」(小笠原)

## 科目の配当年次について（注意）【重要】

web 上での「シラバス検索」の画面では、コンピュータプログラムの制約のため、配当年次が適切に表示されません。

科目登録をする際は、必ず『授業ガイド』で配当年次を確認した上で、履修計画を立ててください。

例えば、web 上の「シラバス検索」では以下の3科目の配当年次は「2年以上」という記載になっていますが、『授業ガイド』の授業時間割の「年次」の欄には、

- 「岩石記載法」 → 2年
- 「機器分析実験」 → 2～3年
- 「地球物理学」 → 2～4年

と、それぞれ違う配当年次が記載されています。

いずれも「シラバス検索」での表示通り「2年以上」であれば履修できる科目ではありますが、『授業ガイド』に掲載されている「年次」がカリキュラム上推奨される履修年次ですので、遵守しないと、その後、思わぬ不利益をこうむる可能性があります。

(例) \*\*\*\*  
2年次に履修すべき科目を2年次に履修しておかないと、3年次で研究室配属に関わる科目が履修できなくなり、4年間で卒業できなくなることがあります。

### ★3年「岩石学実験」(旧C群)【フェイガン研、鈴木研での卒業研究履修に必要なコア科目】

を履修するためには2年「岩石学」(旧B群)、「岩石記載法」(旧C群)の修得を必要とする。

「岩石学」「岩石記載法」について、web 上での配当年次は「2年以上」という表示になっていますが、2年次に履修せずに3年次に履修すると、3年次に「岩石学実験」が履修できず、4年次にフェイガン研、鈴木研での卒業研究に着手できなくなる、という事態になります。

\*\*\*\*\*

また、web 登録時に行う科目の選択に際しても、「履修可能な科目」として表示されるため、本来設定されている配当年次とは異なる科目が表示されることがあります。

以上の点に十分注意して、科目登録を行ってください。